

即戦力となるドクター、看護師が常に不足する現状…

優秀な「人材」探しに 困っていませんか!?



年間の
自費診療クリニックでの
想定求人数

約2000~2500人

自費診療
クリニックの数
(レディースクリニック除く)

約1500~2000医院



自費診療業界における
「人材」探しはより困難になる。

常に人材不足が叫ばれている医療業界。現在、全国で看護師の数は約150万人いるといわれ、そのうちの100万人が病院、30万人が診療所に勤務するとされています。さらに、日本には約10万院という診療所があるため単純に計算すると、1院あたり3人の看護師が働いていることとなります。

レディースクリニックを除いた自費診療を中心とするクリニックは約1500~2000存在し、年間の看護師の想定求人数は約2000~2500人に上ります。

この自費診療クリニックの中でも、頭髮、点滴、再生医療、保険との混合診療など、これまでは少なかったカテゴリーを含むクリニックが急増していることから、看護師への求人総数が増加傾向になってしまっている状況があります。

また、自費診療を中心とするクリニックの大型化が進んでいるため、1院あたりの看護師雇用総数が大幅に増える傾向も見られます。

このようにますます看護師の求人数が増加しているにも関わらず、国家資格を持っていながらも、仕事に就いていない方が50万人以上もいるとされているのが現状で、さらに「看護師が入職先のクリニックを選ぶ」という時代になっているのです。

そして、入職した看護師の早期離職も増加し、人材不足に歯止めがかからず、今後はクリニック開業の都市部集中傾向も重なって、自費診療業界における看護師採用は、より困難に陥ると言われています。

看護師をはじめ、ドクターはもちろん、優秀なスタッフを採用できるか否か、クリニック経営を成功に導くために最も重要なポイントだと言っても過言ではありません。

今回の「自費研plus」は、そんな人材探しの難しさと大切さ、そしてクリニックがどうすべきかを特集してみました。人材の採用を安定させ、離職しない工夫を行い、自費診療をますます増収・増患へと繋げてみませんか。